



ライムさん  
リスナー歴は約4年。  
夫婦でFMかのやを聴いている。

ライムさん 前原さんの軽快な鹿児島弁が好きです。大隅地域のことを中心に話してくれるのがやっぱり嬉しいですね。ラジオを聴いていると次第にほかのリスナーさんのことも覚えて

て、リスナー同士がつながるのが魅力だと思っています。好きなコーナーは「虫をめぐる冒険」というコーナーです。



波江野 秀樹さん  
リスナー歴は約6年。  
吾平町で花農園を営んでいる。

くるので、その掛け合いも楽しみの一つです。それに普段使う道路の情報を聴けるのも大変助かっています。停電時にも聴けるようにした方がいいと防災意識を高めるきっかけにもなりました。

ゆんたくの友梨さん FMかのやを聴いて、お店にやってきたという人も多くいます。鹿屋市以外にも志布志市や肝付町から来たことも何度もあります。日によっては10人ぐらいのリスナーの方が訪れることもあります。

ラジオをきっかけに知り合えました。集まって話すことも様々です。地元の人とのつながりが強くなるきっかけとなったのは間違いありません。

あずきさん ゆんたくに集まるリスナーは、日時を決めたりせずに自由に来ります。ルールもなく、事前連絡もないので気軽に話せる場所です。共通の話題で話せるネタとなってくるのも、コミュニティ放送の醍醐味だと思っています。

# ラジオでつながる

たくさんの思いをのせて発信されるFMかのや。リスナーのなかには、まさに「聴けば友達、語れば親友」となった人々がいました。ラジオに投稿しているリスナーの人々は、ラジオでつながり、自然と場を作り、赴くままに交流を深めていました。そのような人たちにFMかのやの魅力について語っていただきました。  
※氏名の一部はラジオネームで記載



## Listener



ゆんたくの友梨さん  
リスナー歴は約3年半。  
神奈川から移住し、高須町で海の家「ゆんたく」を経営。

広報 FMかのやのリスナーになったきっかけや魅力、好きなコーナーを教えてください。

ゆんたくの友梨さん 元々ラジオは全く聞かない方だったんですけど、リスナーであるとしさんから紹介されて聴き始めました。お店をしている間にBGM程度に聞いていたんですけど、すっかりはまりました。知らない土地で知り合いもいなくて、寂しさと不安もあったころ、ラジオから流れてくる前原さんの明るく優しい声に救われました。

とても面白いです。

鹿屋のとしさん 地域密着型のラジオがFMかのやのいいところだと思います。ゆんたくの友梨さんに紹介したのも、鹿屋市でコミュニティを作ってもらうのに良いと思ったからです。

私はほぼ毎日投稿しています。ほとんどの投稿を読んでもらえます。これが自分も参加していると感じることができて、一番嬉しいです。前やっていた「ダーツに聞いて」というコーナーは特に好きでした。もちろん、今のコーナーも大好きです。



鹿屋のとしさん  
リスナー歴は約7年。  
投稿した内容を記念として手帳にまとめている。

あずきさん FMかのやは開

局当時から聴いていて、仕事の休憩時間に投稿したりしています。朝の生放送が仕事とかで聴けなくても、昼と夜の再放送があるので毎日聞いています。開局前から他局のラジオを聴いていましたが、市外の話が多く、自分が生きている「外」の世界の話が聴いている感覚でした。FMかのやが始まってからは、私たちの生活の一部になってくれましたね。

波江野 秀樹さん 花農園を営んでおり、仕事や移動中にラジオを聞いています。投稿もしますが、毎週プレゼント企画にブーケや野菜などを提供しています。リスナーとラジオ局との「距離」が近く、また投稿を通じ

## Supporter

FMかのやを支えてくれていた企業にお話を伺いました。



▲おそうじ本舗鹿屋東店で代表を務める田澤恭平さん(右)と里江さん(左)。

私がFMかのやを知ったのは、妻が入院中にラジオを聴いたのがきっかけです。流暢に鹿児島弁を話す前原さんのトークが面白く、FMかのやを聴くようになりました。

私は笠之原でハウスクリーニングを営んでおり、地域の方々とつながるために広告を出したいと思っておりでしたが、「ラジオで反響があるのか」と半信半疑でした。

実際に広告を出してみると、リスナーの方々からの反響がありました。ほかの広告よりも安価であり、臨機応変に対応してくれるので大変助



かっています。また、FMかのやはリスナー同士のつながりがとても強く、紹介してもらえることも多々ありました。こうしたつながりの強さは予想しておらず、とても嬉しい誤算でした。お客様から「おそうじ本舗さんにエアコンクリーニングを頼みました」といった投稿もあり、お付き合いしてよかったと思っています。



▲ホームページ